

令和4年6月23日

養父市議会議長 西田 雄一 様

予算特別委員会

委員長 藤原 芳巳

予算特別委員会審査報告書

令和4年6月6日、本委員会に付託された事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、養父市議会会議規則第101条の規定により報告します。

記

- 1 審査年月日
令和4年6月9日（木）
- 2 審査結果

議案番号	事 件 名	審査結果
議案第51号	令和4年度養父市一般会計補正予算（第2号）	原案可決すべきもの
議案第52号	令和4年度養父市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決すべきもの

（別紙）審査内容等報告書

(別紙)

予算特別委員会 審査内容等報告書

議案第 51 号 令和 4 年度養父市一般会計補正予算 (第 2 号)

【質疑】 デジタルヘルシーエイジング事業は、デジタル田園都市国家構想推進交付金を受ける前提で計画しているが、不採択となった場合、事業の推進はどのようにするのか。

【答弁】 デジタル化は避けては通れないものであり、国も実装を進めていこうとしている。仮に申請中の交付金が不採択となった場合でも、財源補正を行い、一般財源等により事業の推進に取り組んでいきたい。

【質疑】 社会的処方推進事業は、リンクワーカーを作る事が大切な要素となる。市と社会福祉協議会で実施しているくらし安心サポーター制度は、高齢者の社会的孤立の解消等、地域の見守りなどを行っている。同様の事業を行っている社会福祉協議会に委託するという選択肢もあるのではないかと。

【答弁】 お年寄りだけでなく、既存制度の狭間にある課題解決が困難な案件にも、寄り添って伴走していくための仕組みが必要と考えている。医師と連携し、医師は薬の処方、リンクワーカーは社会とのつなぎ役として、総合的な仕組みを作りたい。社会福祉協議会とも連携し、重層的に実施していきたいと考えている。